

50歳からの不安を安心にかえる『地域公開医療セミナー』特別開催！

いざという時慌てない 現役専門医がアドバイス

『認知症』と『胆のう手術』

正しく向き合うために、今からできること！



高齢者ご本人やご家族にとって、病気に対する不安や悩みは常に向き合わなくてはならない課題。全国で介護事業を展開する『ベネッセスタイルケア』では、これからの医療や健康における正しい知識や対処法、病気との上手な付き合い方について定期医療セミナーを開催。今回は、身近な病気で知られる『認知症』や『胆嚢結石、胆嚢炎』がテーマ。理解を深め上手に付き合いながら、人生を送るためのヒントを学んでみてはいかがでしょうか？

主催/ベネッセスタイルケア

5/17(土)
13:30~

「認知症とは何か」

～認知症と付き合いながら最期まで
良い人生を支えるために～

講師：船橋総合病院 神経内科部長 星野 将隆 先生

「もしも、親や身近な人、あるいは自分自身が認知症になってしまったらどうしよう…」そんな不安を抱いたことはありませんか？ 今日本では、65歳以上の高齢者の15%が認知症であり、400万人が軽度認知機能障害であると推定されています。このセミナーでは、認知症についての理解・医療現場からの考察を含め、ご家族や地域ぐるみの予防についての具体的なアドバイスを紹介します。



星野 将隆先生
船橋総合病院 神経内科部長

兵庫県立尼崎病院、東京大学医学部附属病院、東京医科歯科大学難治疾患研究所等で神経難病の臨床・研究を経て2005年より現職。日本内科学会総合内科専門医、日本神経学会専門医・指導医、日本在宅医学学会専門医、日本抗加齢医学会専門医、介護支援専門員。

現代の日本では、世界的・歴史的に類をみないスピードで高齢化が進んでいます。高齢化が進むこと「認知症が増えること」であり、「老老介護」や「認知介護」などの言葉が示すように、医療の現場でも影響が生じています。例えば、救急車で受診された高齢の患者様で、「一緒にいらつした同伴者の認知症がひどく、いつからどのような症

医療の現場から見て、認知症の課題とは？

状態がはじまったかななどの病歴を全く聴取できないために、診断治療に支障をきたすといったことが増えているのは、その一例です。認知症とは、多くの方が感じている「度忘れ」など、実際の生活に支障がない場合は含まれず、「理解や記憶、判断力が低下するために、仕事や日常生活に支障をきたすことである」とさ

ら「手術と不安があります…」が主流となっています。この手術のメリットは、傷が小さいことにより体への負担が少なく、術後の回復が早いことです。また、美学的にも傷が目立たないので特に女性にはメリットが大きいです。ただし、熟練度の差が

合いを亡くされた方が比較的に急速に認知症を発症される場合もあることから、親類・縁者や地域とのふれあいを保つことや、旅行・趣味にいそむ等日常生活に張りを持たせる事も大切ではないかと考えています。また、進行のスピードを抑える様々なお薬も近年使用されるようになって

最後に皆様にお伝えしたいことは、胆石症は、成人の10人に1人が持っているといわれる非常に一般的な疾患です。自覚症状がないとなかなか治療を受ける気にならない方もいらっしゃいます。胆石症は、長寿社会における最大の課題であるといっても過言ではありません。私たちも地域ぐるみで支えられるよう、共に地域貢献できればと思っております。今回のセミナーでは、認知症についての正しい知識を学んでいただくとともに、治療の現状や予防策・対応策についてもお話しします。ぜひ、ご家族でご参加ください。

5/24(土)
14:00~

「腹腔鏡下胆嚢摘出術について」

～傷の無い手術を目指して～

講師：船橋総合病院 副院長 斎木 仁先生

胆嚢結石は日本人の約10%、1000万人を超える人が持っているといわれ、年齢を重ねることに出来やすくなり、特に肥満気味の中年女性に多くみられます。そして、「腹腔鏡下胆嚢摘出術」は、傷のない手術として今注目の高い手術法。今回のテーマについて、船橋総合病院副院長 斎木 仁先生に、お話を聞きました。

胆嚢結石があるというだけでは、症状はあらわれませんがそれが胆汁の流れをつまらせたりすると、強い痛みや吐き気、肩こりのような症状が起こります。胆嚢結石があるというだけでは、症状はあらわれませんがそれが胆汁の流れをつまらせたりすると、強い痛みや吐き気、肩こりのような症状が起こります。

胆嚢結石があるというだけでは、症状はあらわれませんがそれが胆汁の流れをつまらせたりすると、強い痛みや吐き気、肩こりのような症状が起こります。

胆嚢結石があるというだけでは、症状はあらわれませんがそれが胆汁の流れをつまらせたりすると、強い痛みや吐き気、肩こりのような症状が起こります。

胆嚢結石があるというだけでは、症状はあらわれませんがそれが胆汁の流れをつまらせたりすると、強い痛みや吐き気、肩こりのような症状が起こります。

胆嚢結石があるというだけでは、症状はあらわれませんがそれが胆汁の流れをつまらせたりすると、強い痛みや吐き気、肩こりのような症状が起こります。

肝臓から消化液の一種である胆汁が作られ、これを一時的にためておく器官が胆のうです。胃の中に食物が入ると、その信号を受けて胆のうが収縮し、胆汁が流れ出して食物を消化します。何らかの原因で、胆汁の流れが悪くなると、胆汁の折出物である結石ができたり、炎症が生じます。

また炎症が起きると高熱が出たり、黄疸など肝機能障害となることもあります。症状をとるためには薬物治療を行います。胆嚢結石が胆管内にたまっていく場合は、内視鏡を使って石を取り出す方法もあります。施設によりますが体外衝撃波で石を砕く方法もあります。

術後は翌日から、歩行や飲水ほとんどの場合食事でも可能になります。3日程経過すると、かなりスムーズに動くようになります。ご自身で楽になつたと思ふ時が退院の時です。退院後、日常生活は普通に行えますが仕事や運動などは体調に合わせて1週間後くらいから徐々に始めてください。

最後に皆様にお伝えしたいことは、胆石症は、成人の10人に1人が持っているといわれる非常に一般的な疾患です。自覚症状がないとなかなか治療を受ける気にならない方もいらっしゃいます。胆石症は、長寿社会における最大の課題であるといっても過言ではありません。私たちも地域ぐるみで支えられるよう、共に地域貢献できればと思っております。今回のセミナーでは、認知症についての正しい知識を学んでいただくとともに、治療の現状や予防策・対応策についてもお話しします。ぜひ、ご家族でご参加ください。

胆嚢結石があるというだけでは、症状はあらわれませんがそれが胆汁の流れをつまらせたりすると、強い痛みや吐き気、肩こりのような症状が起こります。

セミナーでは、実際に患者さんをみていらっしゃる船橋総合病院の先生が認知症や胆のう手術についてわかりやすく解説。認知症や胆石症について、理解を深めたい方は、気軽にご参加を。講師への質疑応答もできます。ぜひ、この機会に、専門医の知識に触れ、参考にしてみてください。

ベネッセの「地域公開医療セミナー」開催！
・参加費無料/予約制、それぞれ定員50名様
◆会場：こち東船橋 ※JR総武線「東船橋駅」北口より徒歩14分(約1,070m)

「認知症とは何か」
～認知症と付き合いながら最期まで良い人生を支えるために～
◆日時 5/17(土) 13:30~
◆講師 星野 将隆先生(船橋総合病院 神経内科部長)

「腹腔鏡下胆嚢摘出術について」
～傷の無い手術を目指して～
◆日時 5/24(土) 14:00~
◆講師 斎木 仁先生(船橋総合病院 副院長)

2014年 6月オープン(予定) 船橋市中野木1-6-1

ベネッセの住宅型有料老人ホーム

ここち東船橋

船橋市に2つめのベネッセのホームがこの6月(予定)にオープンします。オープン前に、ホーム内を見学できる、内覧会を開催中(5月31日まで)。お気軽にホームへお越しいただき、新しいホームの雰囲気をご確認ください。

◎ご希望の方には入居のご相談・居室の先行予約も承っております。
セミナーとあわせてホーム内の見学や個別相談もできます。詳細はお問い合わせください。

JR「東船橋駅」より徒歩14分(約1,070m)、周辺には穏やかな住宅地が広がる落ち着いた環境。ホームは全室個室で、広々としたダイニングルームや、各階ごとのラウンジなどくつろぎのスペースも充実したゆとりある住空間。24時間見守りの安心と快適さに包まれて、居心地の良い暮らしをお過ごしいただけます。

【「ここち東船橋」概要】 ■類型：住宅型有料老人ホーム<地域の介護サービスや併設の同社訪問介護事業所(申請予定)利用可> ■入居要件/入居時自立、要支援、要介護、契約時原則満65歳以上 ■居住の権利形態/利用方式 ■利用料の支払方法/選択方式 ■居室区分/全室個室

セミナー予約 問い合わせ
ベネッセスタイルケア お客様窓口
0120-17-1165
9:00~18:00 無休
<http://kaigo.benesse-style-care.co.jp>

ベネッセの介護 検索